

事業番号	04 06 02	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課	
		実施期間	S28 ~	E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	合計特殊出生率					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり			

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	子ども・若者を取り巻く環境は近年急激に変化し、子どもの性被害やいじめなどインターネット・スマートフォンに起因する青少年に関する様々な問題の発生や、ニートやひきこもりの若者の増加、また不登校、子どもの貧困、発達障がいなど、子ども・若者に関する問題が深刻化してきている。	30年度 決算額	130,710 千円
		職員数	9.70 人
目指す姿	長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができることを目指す。 (主な実施内容:チャイルドライン推進協議会への補助、青少年問題協議会の開催、子ども・若者支援地域協議会の運営、子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業、将来世代応援県民会議への補助など)		

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況					
					No	成果指標	29年度	30年度		
コスト	予算額	前年度繰越	0	0	0					
		当初予算	146,483	138,311	153,204					
		補正予算	750	-2,750						
		合計(A)	147,233	135,561	153,204					
	Aの財源	一般財源	135,063	95,717	98,202					
		県債	0	0						
		国庫支出金	7,920	38,111	48,100					
		その他	4,250	1,733	6,902					
	決算額(B)	137,513	130,710							
	概算人件費	職員数(人)	9.2	9.7	10.0					
概算人件費(C)		74,538	79,715	82,180						
概算事業費(B(A)+C)		212,051	210,425	235,384						
備考					成果指標 設定理由	①「チャイルドライン」の活動を支援することにより、悩みを抱えている子どもたちが気軽に相談できる機会を提供する。 ②子ども・若者支援地域協議会の運営を通して、ニートやひきこもり等の困難を抱える子ども・若者(要支援者)に対する、関係機関の効果的な連携による支援を推進する。 ③要支援者に対して出口戦略を持って専門的に対応する民間団体を支援することにより、子ども・若者の社会的自立を目指す。 ④子どもの居場所づくりの推進のため、平成30年度は運営の担い手となる人材の育成を図る。				
	1	チャイルドライン電話受付件数	12,056	現況以上	12,821	達成				
	2	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合(%)	84	現況以上	88	達成				
	3	助成団体における要支援者の自立の割合(%)	30	現況以上	17	未達成				
	4	コーディネーター等人材育成研修会参加者数	—	延べ500	延べ2,675	達成				

目標に対する成果の状況	①全国夏のキャンペーンや受付時間の延長により電話受付件数が増加し、目標を達成することができた。 ②子ども・若者支援地域協議会については、関係機関との連携促進により、目標より多くの要支援者の支援を行うことができた。 ③助成団体による専門的な自立支援のニーズは多く、県として積極的な支援を行っているところであるが、母数が小さいこと、自立に必要な期間が個々のケースにより異なっていることから、30年度においては一時的に目標値を下回る結果となった。 ④信州こどもカフェに関する情報提供や助言を行うコーディネーターの人材育成研修会について、市町村へのチラシの配布や、プラットフォームを通じた周知により、参加者数の目標を達成することができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい者支援を推進する上で、「教員等の知識、対応力向上の必要性」、「発達障がい者の自立・就業に対する更なる支援の必要性」、「発達障がい者やその家族に対する周囲のフォロー、理解の不足」、「発達障がいを診療できる医師の不足」などが課題となっている。 ・信州こどもカフェは県下約80か所にあるが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対応するため、発達障がい者支援対策協議会を新たな体制へと刷新したところである。今後も引き続き協議会と連携を取りながら課題解決に向けて検討を進める。 ・信州こどもカフェの運営支援や地域プラットフォームによる情報提供、助言等を通じて信州こどもカフェの設置を推進する。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度
					(当初)	(決算)	(当初)
1		青少年の健全育成事業	チャイルドライン推進協議会への補助、青少年問題協議会の開催、将来世代応援県民会議への補助(青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業を含む)	3.20	20,425	19,802	23,200
2		困難を有する子ども・若者支援事業	子ども・若者支援地域協議会の運営、困難を有する子ども・若者の社会的自立支援事業、子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業	2.50	41,548	36,548	52,130
3		発達障がい者支援事業	発達障がいに関する正しい知識を県民に普及啓発するとともに、支援に携わる人材の育成、支援者間の連携体制構築に努め、途切れのない一貫した支援体制づくりを推進する。	3.50	72,238	70,267	74,614
4		官民協働の子どもの居場所づくり推進事業 (こども・家庭課実施分)	子どもたちの成長を支える複数機能を持った子どもの居場所「信州こどもカフェ」の普及拡大を図るため、その核となる地域プラットフォームのコーディネーター及びこどもカフェ運営の中心となる人材の発掘・育成を支援した。	0.50	4,100	4,093	3,260
合計				9.70	138,311	130,710	153,204

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	子ども・若者育成支援事業				部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課			
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
1	青少年の健全育成事業	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び、子どもを性被害から守るための取組について審議する。	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び、子どもを性被害から守るための取組について審議した。	計画通り○	966	750	650		540	
1	青少年の健全育成事業	健全な社会環境づくり事業	直接	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行う。	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行った。	計画通り○	1,156	1,247	1,148		1,076	
1	青少年の健全育成事業	長野県将来世代応援県民会議（青少年育成事業）補助事業 旧：青少年育成県民会議補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業を含む）を交付する。	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業を含む）を交付した。 補助金交付先：長野県将来世代応援県民会議	計画通り○	17,097	18,246	14,918		14,477	
1	青少年の健全育成事業	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもがかけられる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制を強化する。	18歳までの子どもがかけられる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図った。 補助金交付先：長野県チャイルドライン推進協議会	計画通り○	3,709	3,709	3,709		3,709	
2	困難を有する子ども・若者支援事業	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営する。	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営した。 委託先：（特非）侍学園スクオアラ・今人ほか3団体（随意契約）	計画通り○	10,933	10,915	10,915		10,891	
2	困難を有する子ども・若者支援事業	困難を有する子ども・若者の社会的自立支援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して訪問相談や居場所提供を実施する団体を助成することで、団体を育成し、県内の子ども・若者支援体制の強化を図る。	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して訪問相談や居場所提供を実施する団体を助成することで、団体を育成し、県内の子ども・若者支援体制の強化を図った。 補助金交付先：（特非）グランド・リッシュほか3団体	計画通り○	14,464	14,349	14,349	-4,000	10,034	
2	困難を有する子ども・若者支援事業	子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業	直接	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援及び個性を伸ばすための教育手法等について検討を行う。	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援及び個性を伸ばすための教育手法等について検討を行った。	計画通り○	19,230	15,951	16,284		15,623	
3	発達障がい者支援事業	長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業	委託	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援体制を構築。	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援体制を提供した。 委託先：（特非）ウィズハートさくほか9団体（随意契約）	計画通り○	64,150	-	64,150		62,113	
3	発達障がい者支援事業	市町村発達障がい者支援体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールを普及。	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールの普及を図った。 委託先：（医）恵に会ほか11団体（随意契約）	計画通り○	1,221	-	1,221		1,220	
3	発達障がい者支援事業	発達障がい者支援センター事業	直接	家族同士の相談に当たるペアレント・メンター養成研修等各研修の開催や、「発達障がい支援のための資源ハンドブック」の改訂版作成等を行う。	家族同士の相談に当たるペアレント・メンター養成研修等各研修の開催や、「発達障がい支援のための資源ハンドブック」の改訂版作成等を行った。	計画通り○	7,240	-	6,867		5,684	
3	発達障がい者支援事業	地域生活支援事業費等補助金国庫返還金	直接	平成29年度国庫補助金の精算に伴う返還を行う。	平成29年度国庫補助金の精算に伴う返還を行った。	計画通り○	543	-	-	1,250	1,250	
4	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業（こども・家庭課実施分）	官民協働の子どもの居場所「信州こどもカフェ」推進事業	委託	信州こどもカフェの運営の担い手となる人材の発掘・育成のための研修等を実施	信州こどもカフェの運営の担い手となる人材の発掘・育成のための研修等を実施した。 委託先：（特非）長野県NP0センターほか6団体（随意契約）	計画通り○	5,774	4,900	4,100		4,093	
合 計								146,483	70,067	138,311	-2,750	130,710